室谷（むろ）ひろゆき 県議会報告

県　庁：金沢市鞍月１－１ TEL 076-225-1027㈹
住　所：加賀市山代温泉14の67 TEL 0761-77-7839
FAX 0761-76-9390

H26年9月号

データで読み解く…石川県の課題！！

⇒ ≪住みよきまち≫を目指して、改善していこう！

人口

1、 人口増減率・・・マイナス ０．84％（H19～H24）［全国平均 マイナス ０．40％］

2、 本年度の人口増減（住民基本台帳より）

石川県は、対前年度比マイナス3,562人の115万2949人と、人口が減少しています。

それに反して、人口が増えている都県は8つあります。

人口減少時代とはいえ、全ての自治体が減少しているわけではありません。

石川県が、これからも持続的発展を続けていくためには、自らのまちの魅力住み良さを高め、人口流出を防がなければなりません。

又、そのためには、雇用の創出そして、子どもを産みやすい環境を整えていく施策を積極的に行う必要があります。

3、 人口動態統計（H25）

- ○ 県内の出生者数 ・・・ 9,449 人 （過去最少）
- ○ 県内の死亡者数 ・・・ 1万2,224 人 （過去最多）
- ○ 結　婚 ・・・ 5,339 組 （前年比369組減）
- ○ 離　婚 ・・・ 1,812 組 （前年比 47組増）

＊ちなみに加賀市は（H24年度）

- ○ 自然増減 ・・・ マイナス 418 人 （出生488人、死亡906人）
- ○ 社会増減 ・・・ マイナス 543 人 （転出1,833人、転入1,290人）

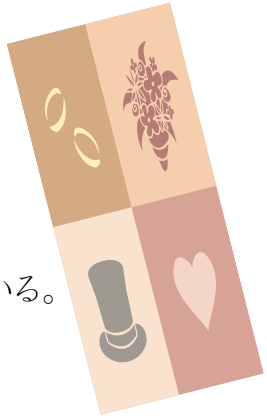
と、いうことで、1年間に、**961人**もの**人口が減少**しています。

○But、一方で石川県内でも･･･

川北町･野々市市･津幡町･能美市･金沢市･白山市･内灘町では、人口が増えています。

このような人口増加自治体は、「住宅助成」や「就職支援」、「就農支援」「転入奨励金」「空き家等情報提供」などの定住促進策を実施し、人口を増やす積極的なとりくみをしています。

人口減少自治体も人口流出が地域の限界集落化になることを自覚し、人口促進策を積極的に実施すべきです。



○　未婚化　→　人口減少の原因の一つ

「結婚したくても、結婚出来ない層の増加」

≪近年の大きな課題≫

⇒特に、男性の所得状況が結婚と大きく関わっている。

○But、毎年･･･非正規雇用が増加中。

⇒経済的理由で、結婚が難しくなっている方々が増え続けています。

○年収200万円以下の慢性化によって、自立して家庭を持って、やっていこうという方が意欲を失っています。

政治の責任として、市民･県民が、自分で働いたお金で結婚や子どもを産み育てられるように雇用環境の改善をはからなければなりません。
又、そのためには、企業に

正規雇用として雇えるだけの企業力をつけてもらわなければなりません。

行政として	⇒	積極的に頑張る地場企業へ融資や支援などの、とりくみが必要です！

4、 県民の所得状況、女性の雇用状況

○ 一人あたりの県民所得 ・・・ 265万2000円（全国 32位）

［全国平均 ・・・ 288万7000円］

○ 女性就業率 ・・・ 51.2% （全国 1位）[2010年調査]

女性の社会進出度（総務省2012就業構造基本調査より）

○ 女性起業家 ・・・ 8.2% （全国 44位）

○ 女性管理職 ・・・ 8.0% （全国 46位）

石川県は、働いている女性が多い県ですが、女性の登用は進んでいません。

行政として ⇒ **県内の様々な企業に働きかけ、より広く女性が活躍できる環境を整えるべきです。**

福 祉

○ 病院病床数 ・・・1623.5床 （全国 12位）

《総病床数、人口10万人あたり》

○ 医師数 ・・・ 279人 （全国 10位）［全国平均 237.8人］

《従業地別人数、人口10万人あたり》

→県内は、全国的にみれば、決してお医者さんの少ない県ではありません。

（But、そのお医者さんの多くが、金沢周辺病院勤務のため、加賀や能登では、深刻な医師不足になっています。）

県内のバランスある発展、そして、同じ県に住む県民一人一人が、どこに住んでいても安心な医療を受けられるよう、医師の偏在化について考察していく必要があります。

☆　ひとつのめやすとして･･･民間会社が行っている　☆

2014年　「住みよさランキング」結果

⇒石川県の市町は、上位が多い！

・野々市市　（全国3位）･かほく市（全国7位）･能美市　（全国9位）
・白山市　（全国28位）･七尾市（全国41位）･小松市（全国46位）
・金沢市　（全国81位）＊ちなみに、加賀市は全国280位でした。

民間会社が毎年行っている調査結果ですが

石川県は、全国的にも[住みよいまち」であることが、ランキング結果としても出ています。

そこで、北陸が住みよい地域である事を（全国2位は、福井県の坂井市）もっとアピールして、他県への流出をくいとめ、さらに、新たな人材をよびこみ、県内のにぎわいをとりもどしていくことが必要です。

又、[住みよさランキング」上位の市が多い石川県にありながら、上位に入っていない市は、先進地域のとりくみを謙虚に学びとり、それを自らのまちづくりに、活かしていくことが必要です。

それぞれの自治体が、手をこまねいていれば、先日の新聞報道にあったように、自治体消滅ということにもなりかねません。

今は、断じて足の引っ張り合いをしている時ではありません。雇用･子育て･教育政策に重点をおいて、まち中みんなで、それぞれの地域づくりを実行していきましょう。

＜　県政に対するご意見をおきかせください！＞

【室谷ひろゆきホームページ】

･･･インターネットで「室谷ひろゆき」で検索すれば･･･
表示の一番上がホームページとなっています。
過去の全ての議会報告などが御覧になれます。

（討議資料）